

# 反動の嵐に抗して！

2011年  
8月22日  
No2

JR 東海労働組合  
大台両所分会  
発行者 西村泰弘  
編集 教宣部

## 二度と自ら命を絶つ社員を職場から出さないために、 みんなが笑顔で働ける職場をつくろう！！

昨年の8月20日、大阪台検車両所で働いていた21歳の若い高専卒社員が自ら命を絶つという、なんとも痛ましい出来事から早くも1年が過ぎます。

彼がなぜ、自ら命を絶たなくてはならなかったのか？！それはもとをたどれば、新台車組立装置の見習い中に、検証不足による組立装置の設備不良により足を挟まれという労働災害に巻き込まれたことが、この発端になっています。労働災害に巻き込まれて以降、彼は落ち込み、会社を辞めたいとも家族に相談し、「自分が高卒ならもっと頑張れた」とも周囲に漏らしていたそうです。

## 新人事賃金制度が生んだ悲劇

会社が多くの現場社員の要求に耳を傾け、新台車組立装置の安全性や作業方法を検討していれば、このような悲惨なことにはならなかったのではないのでしょうか？

2006年に導入された新人事賃金制度のもとでは、たとえ大卒であろうと、高専卒であろうと、社員同士で競争させられています。このことによって、社員の中に助け合いという精神を奪った結果が今回の事態を招いたと言っても過言ではありません。会社がいうチームワーク・一体感なんてそこにはありません。あるのは試験に合格するため、社員同士がお互いを監視しあうという陰湿な職場環境だけではないのでしょうか。

こういう職場環境を変えていかない限り、いずれ、また自ら命を絶つ社員が出てくるのではないのでしょうか？

## おかしいことはおかしいと言おう

私たちはこの痛ましい出来事を決して忘れることは出来ません。残念ながら亡くなった若者の命は戻ってきません。今、私たちが出来ることは、故人の無念な想いを忘れずに二度と自ら命を絶つという悲劇を起こさせないという決意にたち、私たちが笑顔で働ける職場を作らなければなりません。そのためにも、会社がおかしなことをすれば、「おかしい」とはっきり物をいうことです。

私たち東海労とともにこれからも、職場で働くものの立場で会社に対しても物を言い、みんなが笑顔で働ける職場にしようではありませんか！